

合同会社 健康応援社

- 物件名：合同会社 健康応援社
- 住所：花園5-8-4
- 電話：61-1342
- 所有者：小林恵里子
- 運営者：小林恵里子
- 人員：5人
- 建物履歴：
 - 大正4年 熊谷清治宅
 - 昭和27年 小林質店蔵（小林文作）
 - 昭和39年 小林宅増築（小林仁）
 - 平成26年 健康応援社



外観

■外観

大正初期の石蔵と昭和中期の住宅で構成され、健康応援社が入居する間際まで使用されていたため、外観はほとんどそのまま。

■内観（主に石蔵）

- ①清掃
蔵はカフェや貸し室として再利用、スタッフや協力者の清掃により美しく蘇。
- ②表札の発見
清掃の際に埃に紛れ込んでいた表札「小林文作」氏がみつきり、第二の再利用者が判明。
- ③壁の白塗り
蔵の漆喰壁の汚れが目立ったため、壁を漆喰用の白塗り補修。
- ④トイレの水洗とウォッシュレット化
カフェや住宅部分に出入りする不特定多数の人々のためにトイレを改築。
- ⑤碍子引き配線
蔵内部の電気配線は昔懐かしい碍子引き配線をそのまま使用。
- ⑥居間の改築
居間には薪ストーブを配し、周辺に石土間を設置。
- ⑦奥部屋
健康体操には畳が重要なクッションとなり、広い奥部屋を有効に使用。



漆喰壁の蔵内部



小林恵里子氏



薪ストーブのある居間

■内容

小樽の高齢化率 36%を憂い、年を重ねても元気で健康な心と体を維持することを目的に、水中体操や健康体操、心のセミナーやイベント、そして昔取った杵柄を覚醒させて、「おばちゃん食堂」「刺し子飾り」「健康総菜」など実社会とのパイプ役を担う新たなビジネスモデルのステージとした。

■コンセプト

開始後1年もしないうちに、おばちゃん方のコミュニティとなり、誰もが「人の役に立つ」健康づくりを目指し、楽しい時間が集まっている。

■客層

生徒さん：30代～80代
客層：視察をはじめ興味を持つ人々



廊下兼縁側



蔵内部俯瞰と表札



蔵2階収納スペース



蔵外観